

「よい子 強い子 伊丹の子」
伊丹っ子



学校だよりNo. 41
令和6年 3月18日
伊丹市立伊丹小学校
校長 磯田 かおり

♥ありがとう！6年生のお兄さんお姉さん♥

＜6年生とのお別れ会 3月8日（金）＞

6年生とのお別れ会では、どの学年も大好きな6年生との思い出を振り返り、感謝の気持ちをこぼにしていし、立派に伝えました。特に1年生は、そうじの時間、休み時間、七夕集会、ハロウィン、折り鶴を教えてもらった時間等々、数え切れないくらいの6年生との思い出を大きな声で発表していました。他の5年生までの学年も、6年生との思い出やあこがれ、これからの展望をこぼにしていし、みんなで心を合わせて伝える様子がとてもすてきでした。



5年生の代表委員の子どもたちは、在校生を代表して「お別れ会」の司会や進行もしました。胸を張り、きりっとした顔つきで準備を進める様子をとても頼もしく思いました。また、6年生から在校生に向けて語られることばが心にしみました。しっかり最高学年としてのバトンは引き継がれていくことと思います。

すばらしい伊丹っ子たちです。

＜6年生の奉仕活動 3月14日（木）＞

「伊丹小学校のために何かできることに汗を流して奉仕する」という目的で、6年生がみんなで運動場の南端にある溝の掃除をしてくれました。

雨がたくさん降った後でも、早く運動場の水がひいて運動をすることができるように、運動場の周りには溝があるのですが、運動場の土や落ち葉がどんどん中に入ってしまう、その役目を果たせなくなっていました。その大変な仕事に、6年生と担任の先生たちが取り組んでくれました。



溝の中には手強い根っこも張っていましたが、みんなで手分けして掘ったり重たい土をバケツや一輪車で運んだりして働く姿がとても頼もしくかっこよかったです。運動場を通る機会がありましたら、ぜひその成果を見てくださいね。



今年度も温かいご理解やご支援に心より感謝申し上げます！

春は別れと出会いの季節です。子どもたちには6年生との時間や学級の仲間や先生と一緒に過ごすことのできる今の時間を大切にして、過ごしてほしいと思っています。

大人も子どもも、今までの出会いやご縁に感謝し、さらに新年度は新しい出会いも含めて温かいつながりを大切に広げていけたらと思います。

今年度は新型コロナウイルス感染症が5類になったことで、学校行事や様々な学習活動も新たな形を模索しながら教育活動を進めてきました。ご心配をおかけすることも多々あったことと思いますが、温かくご協力いただき、ありがとうございました。

また、来年度も、これからの時代を生きる心豊かなたくましい子どもたちを育むために、教職員一丸となり情熱をもって取り組んでまいり所存です。

今後とも引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

伊丹小学校児童会による能登半島地震義援金 151,918 円集まりました。日本赤十字社をとおして寄付させていただきます。子どもたちの温かい気持ちが少しでも被災地の方々に届きますように。